

スポーツ少年団 大越支部で優良団員の奨励式

1月26日、スポーツ少年団大越支部主催の優良団員奨励式、運動適正テストが開かれ、団員・指導者・保護者など約80人が参加しました。

奨励式では、各単位スポーツ少年団で活躍した優良団員を表彰しました。運動適正テストでは、立ち幅跳びなど5つの種目で基礎体力や運動能力を測定しました。

運動適正テストの終了後には、大越町の遠藤春子さん、子どもの居場所づくりボランティア「ここから」の皆さんの指導で、手打ちうどんと豚汁づくり体験をしました。出来上がったいろいろな太さのうどんを味わいながら、笑顔あふれる食事会になりました。



高齢者学級 滝根「あぶくま大学」学習会・閉校式

2月5日、滝根公民館事業高齢者学級「あぶくま大学」の第6回学習会・閉校式が天地人大学で行われました。

学習会では、ハマダメディカルサポート(株)の濱田寿満さんを講師に迎え、脳トレと運動を組み合わせた健康教室を開催しました。参加者たちは、簡単な運動や頭の体操を行い、楽しみながら転倒予防を行うことができました。

閉校式では、公民館長から今年度の皆勤賞が6人に贈られ、代表して佐藤千代喜学級委員長が一年間を振り返り、感謝の言葉を述べました。



そば生産振興 第6回うつくしま蕎麦王国フォーラム in たむら

より一層の優良そばの生産振興につなげるため、「第6回うつくしま蕎麦王国フォーラム秋そば日本一を目指して」が2月6日、常葉公民館で開催されました。

田村市常葉そば生産・製粉研究会の早川栄二会長による「ふくしま県GAPに基づくソバの生産」、県酒造組合の有賀義裕会長による「7年連続日本一に輝く福島の酒造り」をテーマとした講演会や、パネルディスカッションが行われました。昼食時には、田村市産のそば粉を使った手打ちそばが提供され、大変好評でした。



行政区対抗 都路町行政区対抗インディアカ大会

2月9日に都路町スポーツ振興会主催、第12回都路町行政区対抗インディアカ大会が、古道体育館で開かれました。

年齢不問の1部に19チーム、40歳以上の2部に11チームの合計30チーム約350人が参加して、予選リーグと決勝トーナメントで競いました。

成績は下記のとおり

- 1部▶優勝9区B(第9行政区)▶準優勝9区A(第9行政区)
▶第3位 TOYA-A(第8行政区)、セブン-B(第7行政区)
2部▶優勝3区旧(第3行政区)▶準優勝セブン-D(第7行政区)
▶第3位9区D(第9行政区)、中作C(第2行政区)



人権作文コンテスト 市内中学生3名が優秀賞

第39回全国中学生人権作文コンテスト(主催:法務省・全国人権擁護委員連合会)福島県大会で、受賞した市内の中学生6人に昨年12月、福島地方方法務局郡山支局長から賞状が手渡されました。

受賞した作品は、自身の体験に基づいて、人権とは何かということや、人を思いやることについて綴られていました。

また併せて、コンテストへの応募が多かった都路中学校、常葉中学校、船引中学校の3校に感謝状が手渡されました。

受賞者(敬称略)

- ▶優秀賞 遠藤彩衣(船引中3年)
坪井桜羅(船引中2年)
坪井葵(大越中3年)
▶奨励賞 菅野彩華(都路中3年)
白岩孝太郎(常葉中3年)
神俣寧来(滝根中2年)



▲遠藤彩衣さん



▲坪井桜羅さん



▲坪井葵さん



▲菅野彩華さん



▲白岩孝太郎さん



▲神俣寧来さん

子ども会 滝根町子ども会がレクリエーション

1月19日、滝根町子ども会育成会連絡協議会主催の「スポーツ吹き矢大会」が、天地人大学で開かれました。

スポーツ吹き矢は、数メートル先の円形的に向かって矢を吹き、合計点を競うスポーツです。この日は幼稚園児から小学6年生までの子どもたちが集まり、互いに得点を競い合いました。最初はうまく矢を吹くことができなかった子どももいましたが、回数を重ねるとだんだん上手になっていきました。参加した子どもたちは、楽しみながら集中力を養うことができたようでした。



公民館 大越・常葉合同でスケート教室

1月26日、磐梯熱海アイスアリーナで大越・常葉公民館合同のスケート教室が開かれ、親子25人が参加しました。

郡山スケート協会の講師に、スケート靴の履き方、氷上の歩き方、安全な転び方など、スケートの基礎から指導を受けました。

はじめは、「こわい」と言っていた子どもたちも互いに仲良く教え合いながらスケートを通して交流を深め、全員上手に滑れるようになりました。

